

寒い日が続き、秋から冬へと季節のうつろいを感じるこの頃。冬籠りのお供に図書館の本はいかがでしょうか。心温まる本を多数取り揃えてお待ちしております。是非ご利用ください！

今月の「家族で読書」

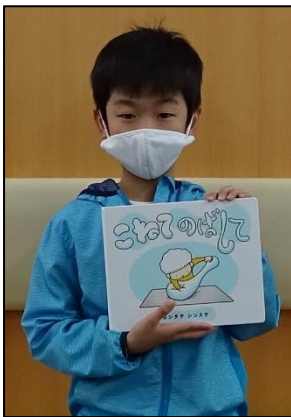
このコーナーでは、図書館をご家族で利用している方にオススメの本を紹介していただきます！今月は「稲垣さん」親子です。

侑くんからのオススメポイント

白いパン生地のような謎の物体と男の子がたわむれるシーンで、①（顔をうずめて）パァと顔を上げるところ ②大きくふくらんだ物体が破裂したときの男の子の顔 ③男の子にくすぐられたときの物体の反応

お母さん・弥生さんからのコメント

月に1～2回図書館に通い、自由に選んでもらいます。あまり口出ししないようにしています。寝る前の20～30分程度、私が読み聞かせたり自分で読んだりします。保育所で読んだ（読んでもらった）本の内容を、丁寧に私に教えてくれます。絵本やすかんの他、最近では文字ばかりの本も自分で読めるようになってきました。映画「美女と野獣」城の図書室に案内されるシーンで、侑もベルと同じ顔でうれしそうにしていました。



稲垣 侑くん

稲垣 侑くん（6歳） のオススメの本

画像

「こねてのばして」
（ブロンズ新社）
ヨシタケ シンスケ
／作・絵

一般書ベスト予約

- | | |
|-----------------------------------|-------|
| ↑ 1位 「家族じまい」 (集英社) | 桜木 紫乃 |
| ↑ 2位 「黙示」 (双葉社) | 今野 敏 |
| ↑ 3位 「任侠シネマ」 (中央公論新社) | 今野 敏 |
| ↑ 4位 「少年と犬」 (文藝春秋) | 馳 星周 |
| ↑ 5位 「流浪の月」 (東京創元社) | 凧良 ゆう |
| 6位 「破局」 (河出書房新社) | 遠野 遙 |
| 7位 「女帝小池百合子」 (文藝春秋) | 石井 妙子 |
| 8位 「その犬の名を誰も知らない」 (小学館集英社プロダクション) | 喜悦 洋 |
| 9位 「二重拘束のアリア」 (小学館) | 川瀬 七緒 |
| 10位 「オフマイク」 (集英社) | 今野 敏 |

注目本！！

画像

「おらおらでひとりいぐも」
（河出書房新社）
若竹 千佐子／著

74歳、ひとり暮らしの桃子さん。おらの今は、こわいものなし——新たな「老い」を生きるための感動作。青春小説の対極、玄冬小説の誕生！
11月公開の映画原作です。

新着図書案内

小説

- ★「Another-2001-」(KADOKAWA) 綾辻行人／著
- ★「わたしが消える」(講談社) 佐野 広実／著
- ★「始まりの木」(小学館) 夏川 草介／著
- ★「象牛」(新潮社) 石井 遊佳／著

小説

★「隣はシリアルキラー」
(集英社)
中山 七里／著

画像

深夜になると隣室から何かを切断しているような不気味な物音が聞こえてくる。同じ頃、近隣で死体の一部が発見された。神足は隣人が犯人ではという疑いを持ち…。ホラーミステリ。

暮らし

- ★「ふわふわカステラの本」(主婦と生活社) 中川 たま／著
- ★「バズレシピ もっと! 太らないおかず編」(扶桑社) リュウジ／著
- ★「おひとりさまの終活まるわかり読本」(PHP研究所) レガシィ／監修

エッセイ

★「聡明な女は愉しく老いる」
(海竜社)
桐島 洋子／著

画像

エイジングは神の恵み、だから80代は面白い! 子ども3人、孫7人を持ち、今は海辺の街に暮らす著者が、ダイナミックに興味の赴くままに行動した60代、70代の日々をまとめる。

★→一般書 ☆→児童書

おはなし

- ☆「グレーテルの白い小鳥」(偕成社) 齊藤 洋／作
- ☆「火狩りの王1 春ノ火」(ほるぷ出版) 日向 理恵子／作

絵本

☆「このほんよんでくれ!」(クレヨンハウス)

画像

ベネディクト・カルボネリ／文
ミカエル・ドゥリュリュウ／絵
ベンチで父親が娘に絵本を読むのを聞いていたオオカミ。続きが知りたくて、偶然手に入れた絵本を読もうとしますが、オオカミは字が読めません。そこで、森の動物に読んでくれるよう頼みますが、みんなオオカミを恐れて…。

アート

★「おじいちゃんとパン」
(パイインターナショナル)

画像

ジャム、あんこ、マシュマロ、砂糖…。おじいちゃんは食パンに甘いものを塗って食べています。その甘いパンを楽しみにしているのが、まごの「ちびすけ」。ちびすけの成長を、食パンレシピと共につづります。

11月の休館日

3日(火)・5日(木)

12日(木)・19日(木)

23日(月)・26日(木)